



中小だより



夏休みが明け、学校が再開しました。

34日間の夏休みが明けて、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休みが明けた最初の登校日は、久しぶりに級友や学級担任に会うことができ、学校は子どもたちの笑顔であふれていました。やっぱり子どもたちのいる学校はいいなとつくづく思いました。

さて、新型コロナウイルスの地域感染状況は、なかなか収束の兆しが見えません。昨年度は緊急事態宣言下での学校再開でした。今年度、緊急事態宣言は発出されていませんが、感染者数は昨年以上です。これからも、手洗い（手指の消毒）・換気・マスクの着用等、感染防止対策を確実に実施していきます。暑さ対策等、マスクを外す際の感染対策については、十分気をつけ、子どもたちにも意識づけさせたいと思います。これからも保護者の皆様に御協力をお願いすることが多々あると思います。どうか御理解御協力願います。

夏休みマイチャレンジ発表会



8月30日（火）3校時に「夏休みマイチャレンジ発表会」を開催しました。毎日続けてがんばることや、夏休みだからできる課題に取り組みました。そのチャレンジについてまとめ、クラスみんなに発表しました。

絵画や工作などの作品作りに取り組んだ子、研究や課題についてじっくり調べた子、料理やお菓子作りに取り組んだ子、漢字や計算、問題集などに毎日取り組んだ子など、それぞれのチャレンジがありました。発表の仕方も様々でした。

が、今年は、高学年でiPadのスライドを使ってまとめ、発表した子が多くいました。iPadを使うようになって1年。昨年の夏休み明けから全学年がiPadを持ち帰るようになりました。そのことを思うと1年間でずいぶん変化しました。子どもたちの適応能力のすごさにも驚かされます。

さて、5年生の牧野叶芽さんは、「高天神城と六砦」について調べました。5年生は、6月に中村砦に行って、中村砦城山保全会の皆様から歴史講座を受けました。総合的な学習の時間に中村砦について学習したので、もっと詳しく調べたいと思い、夏休みのマイチャレンジとして取り組んだそうです。叶芽さんは、調べてみて、高天神城をめぐって戦いがくり広げられたこと、歴史的に有名な徳川家康がこの城東地区で戦っていたこと、440年以上も前の歴史の跡が残っていることがすごいと思いましたとまとめていました。学校で学習したことをさらに深めて学ぼうとする探求的な学びの姿としてうれしく思います。

夏休みマイチャレンジの発表を聞いて、どの子も充実した夏休みを送ることができたことをうれしく思いました。御家庭での励ましや見届けをありがとうございました。（校長 松浦 達之）

#